

日本鉄鋼協会記事

編集運営委員会

第3回編集運営委員会 開催日: 7月25日. 出席者: 田中委員長, ほか 12 名.

1. ヘンダーソン賞候補論文として11件があげられ, 各論文に対し5名の査読者が選定された.

2. 各分科会より報告がなされた.

第6回和文会誌分科会 開催日: 7月4日. 出席者: 田中主査, ほか 14 名.

1. 17件の論文審査報告がなされ, 掲載決定1件, その他1件であった.

第5回欧文会誌分科会 開催日: 7月11日. 出席者: 中村主査, ほか 5 名.

1. 21件の論文につき審査報告がなされ, 掲載可5件, 照会后掲載可8件, 修正依頼5件, 一旦返却2件, 返却1件であった.

共同研究会

第1回運営委員会 開催日: 7月2日. 出席者: 武田会長, ほか 25 名.

1. 昭和54年度共同研究会決算報告

2. 昭和54年度共同研究会活動報告

3. 共同研究会提出資料のマイクロ化

4. 研究委員会報告

5. 報告書関係

6. その他

(1) 「圧延に関する国際会議」進捗状況

(2) 懇親会費の検討

圧延理論部会

第66回部会 開催日: 6月26日~27日. 出席者: 岡本部長, ほか 84 名.

本部会は圧延理論に関する研究を自由に発表して討論を行っている. 今回の研究発表をまとめると内容は以下のとおりである.

1. 板材圧延に関するもの

(幅制御・圧延機能力など).....5件

2. 厚板圧延に関するもの.....2件

3. 熱間圧延に関するもの.....4件

4. 冷間圧延に関するもの.....2件

5. 形鋼圧延に関するもの.....2件

なお, 本部会には鉄鋼メーカーのみならず大学・圧延設備・計装メーカーも参加して発表が行われている.

熱経済技術部会

第66回部会 開催日: 6月19日~20日. 出席者: 片田部長, ほか 121 名.

1. 統一議題

(1) 省エネルギー設備一覧

(2) 製鋼工場のヒートバランスと省エネ対策

これら2件のアンケートまとめ発表及び質疑応答が行われた.

2. 研究議題「日新・呉における省エネルギー活動」と題し, 同所での省エネ活動の状況について述べられた.

3. 自由討論「予熱炭装入」ほか9件の, 主としてエネルギー回収に関する発表が, 各社の事前質問に対する回答として行われた.

4. 自由議題「名古屋第3高炉熱風炉排熱回収設備について」ほか13件の発表があつた.

5. 工場見学は日新・呉・新二圧延工場及び蒸気減圧タービンを中心に行つた.

設備技術部会

第22回鉄鋼設備分科会 開催日: 7月3日~4日. 出席者: 徳光部会長, 宮嶋主査, ほか 103 名.

三菱重工・広島造船所で開催.

1. アンケート議題「製鋼保全体制」及び, 自由議題「CCロール関連」8件であつた. 両議題とも, 現在関心のある所であり, 活発な討論が行われた.

第8回電気設備分科会 開催日: 6月19日~20日. 開催地: 住金・和歌山. 出席者: 徳光部会長, ほか141名.

1. メインテーマ「高圧ケーブルの劣化診断と判定基準」(専門委員会)

2. サブテーマ

(1) 圧延工場における省電力対策事例

(2) 電気機器の冷却装置の故障事例と問題点

(3) 多重伝送装置の使用実態調査

3. 自由テーマ

(1) ホットコイルの巻姿向上について

(2) 加古川製鉄所短絡容量対策について

(3) LKGB線使用のホットランモーター刷子の異常摩耗

(4) 絶縁保護具について

高温強度研究委員会

第1回委員会 開催日: 6月27日. 出席者: 田村委員長, ほか 18 名.

従来のクリープ委員会は前年度限りで廃止され, 本年3月より新たに高温強度研究委員会が発足することとなった. この本委員会委員の編成替を終了したので, 次のような議題で第1回の会議が実施された.

議題 1. 本委員会委員名簿と分科会委員名簿の確認と本委員の自己紹介.

議題 2. 分科会の新設と主査の推せんについて

議題 3. 高温強度研究委員会内規(案)について.

以上審議の結果, 分科会の新設については

(1)クリープ強度外挿法, (2)合金設計, (3)高温変形理論の3分科会があげられたが, (1)については設置が承認され主査に東大・藤田委員が就任することとなった. (2), (3)については勉強会を開くこととし金材技

研・山崎道夫氏、東大・宇宙研・堀内良氏の両委員が担当することとなった。また、委員会内規(案)については一部字句修正のうえ原案どおり了承された。

鉄鋼標準試料委員会

第57回委員会 開催日：7月15日。出席者：川村委員長、ほか18名。

1. 常任委員会報告
2. 鋼中炭化物抽出用標準試料の頒布価格決定
3. 委員会内規細則の決定についての報告
4. JSS 標準試料の頒布状況、在庫量及び製造作業予定報告

5. 昭和54年度の決算報告

第2回常任委員会 開催日：7月15日。出席者：川村委員長、ほか12名。

1. 細則改定についてのまとめ

2. 鋼中炭化物抽出用標準試料の頒布価格審議
3. 素材の製造結果についての報告
4. 南アの標準試料についての紹介
5. フェロバナジウム標準試料製造について

鉄鋼基礎共同研究会

第5回鉄鋼材料の摩耗部会 開催日6月13日。出席者：梅田委員、ほか21名。

1. 研究発表として次の論文発表と討論が行われた。
 - (1) 摩耗試験装置の考案例(日新)
 - (2) 過共折鋼の摩耗について(京大・田村、姫路工大・砂田)
 - (3) 熱間圧延時のロール摩耗に及ぼす潤滑の効果(新日鉄)
2. 今後、部会でとりあげるべき課題につき討論を行った。

第6回材料集合組織国際会議開催案内ならびに論文募集

The Sixth International Conference on Texture of Materials (ICOTOM 6)

日本鉄鋼協会では、標記国際会議を開催することになりました。ただ今 1st Circular を発行して論文募集を行っておりますので、多数の御応募をお待ちしております。申し込み要領は下記のとおりです。

なお、Circular をご入用の方は下記宛ご連絡下さい。

1. 日 程 昭和56年9月28日(月)～10月3日(土)
2. 会 場 経団連会館11階国際会議場ほか
3. 協 賛 日本金属学会、軽金属学会、日本結晶学会、日本材料学会
4. 論文募集 下記部門の講演ならびにシンポジウムを募集しております。奮ってご応募下さい。

講演

- | | |
|---------------------------------|--|
| I. Techniques | V. Textures in Non-metallic Materials |
| II. Deformation Textures | VI. Texture and Properties |
| III. Recrystallization Textures | VII. Technological Application of Textures |
| IV. Transformation Textures | |

シンポジウム

“Orientation Distribution Analysis and Techniques of Orientation Measurements”

5. 用 語 会議はすべて英語でおこなわれます。
6. 講演申し込み 昭和55年11月30日締切
英文で300語ほどの Synopsis を同封の上お申し込み下さい。
採用決定後1981年6月までにプレプリント用の原稿(2ページ)、また会議当日本論文の最終原稿(10ページ)をご提出願います。
7. お問い合わせ 〒100 千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階
(社)日本鉄鋼協会 国際課 佐藤、青木 TEL (279) 6021